

## 第22回 (令和5年度)

# シニア地域活動入門講座(第5回)

日時: 令和5年11月10日(金) 8:45 ~ 15:00

場所: 日鉱記念館、旧共楽館(日立武道館)、日立オリジンパーク

内容: わが街日立の魅力再発見講座 2 (福祉バスで市内巡り)

### ○ 施設見学

案内: 日鉱記念館、日立オリジンパークは自由見学。旧共楽館では椎名氏(日立武道館施設長)、杉山氏(市スポーツ協会/日立武道館(旧共楽館)説明案内員)、佐藤氏(認定NPO法人/共楽館を考える集い代表)

- 日鉱記念館にて日立鉱山と工業都市・日立の発展を映像・パネルと展示物で歴史を学んだ
- 旧共楽館(日立武道館)では椎名施設長、佐藤代表のご挨拶と杉山案内人より旧共楽館の由来、大煙突の誕生秘話、館内の特徴、館外では建築様式の説明があった。(昼食は旧共楽館2階)、
- 日立オリジンパークでは、最新の映像システムによる日立製作所の歩み、将来への展望、時代別の製品が展示されている小平記念館、創業小屋を見学した。

## 施設見学の概要

○ 日鉱記念館は、1985(昭和60)年、創業80周年を記念して、日立鉱山跡地に建てられ日立鉱山の歴史を展示した産業資料館です。日立鉱山は創業者・久原房之助が赤沢銅山を買収し、日立鉱山として開業して以来、閉山までの76年間、わが国の近代化と経済成長に寄与してきた。展示内容には、その成長から閉山までの軌跡とともに環境問題の金字塔と言われる世界一の**大煙突**や坑内の様子、**鉱山都市**の暮らしの様子を映像・パネルで展示している。



○ 共楽館は、日立鉱山の福利厚生施設として1917年(大正6年)に完成。この劇場は建設開始時は大雄院劇場と呼ばれており、当時の新聞では**鉱山技師**が東京の帝国劇場、歌舞伎座などの劇場を視察した上で設計したものと記録されている。建物は西洋の建築技術を取り入れた日本の伝統的な建築意匠を配した和洋折衷の大型木造建築物である。歌舞伎の上演を想定して建設したため館内には回り舞台と大型格納型の花道があり、2階には**棧敷席**があった。外観では建物全体に和風の**大屋根**が掛けてあり、正面には**千鳥破風**を構える特徴ある建造物となっている。



○ 日立オリジンパークは「小平記念館」「創業小屋」「大みかクラブ」「大みかゴルフクラブ」からなる日立製作所の原点と歩みを紹介する新たな施設です。中でも小平記念館は日立が1910年の創業以来**伝承**してきた**企業理念**や**創業の精神**である**和・誠・開拓者精神**を胸に、**社会課題解決**へ挑戦し続けた歴史を、地域の皆さまにも知っていただける展示となっている。



更に、これからの「社会課題を共に考える場」として参加体験型のシアターを設け、これまでの展示テーマを振り返り、将来への想いを寄せる展示を実現している。また、日立の原点である「創業小屋」を創業の精神を未来へ伝える**シンボル**として再復元している。

参考文献 ・フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』・日立市観光「日鉱記念館」ホームページ  
・日立製作所ホームページ「日立オリジンパーク」





日鉱記念館前集合写真



日鉱記念館ビデオ説明



日鉱記念館見学の様子



旧共楽館前集合写真



旧共楽館での杉山氏説明



説明に聞き入る受講生



日立オリジンパーク「小平記念館」前集合写真